

沖縄語の漢字の振り仮名と送り仮名(4枚)

2009年8月15日

沖縄語研究家 船津好明

教育用の沖縄語の漢字には必ず仮名を振ります。沖縄語文は日本語で読むものではなく、沖縄語で読むものですから、全ての漢字は、仮名を振ることによって沖縄語での読み方を明示する必要があります。音が助詞などと融合して変化するとき、振り仮名の位置を変えずに、変化した音の通りに振ります。仮名の送り方は日本語での送り方に整合させます。そうすると沖縄語の文語表現とも整合します。

下表右欄は公刊書の中の不適切な実例です。(外来語を含む。)現在、右欄のように書く指導書が出回っていることは残念なことです。右欄のように書くと、児童・生徒等の日本語の誤りを誘発し易く、学力の低下を招く恐れがあります。左欄は右欄に代わる適切な例です。

適切な振り仮名と送り仮名の例 ( ) = 音が関係する日本語、[ ] = 文語的発音	× 教育上不適切な文字遣いの実例
あさ 朝一(朝は) [朝や]	あさー 朝
いくさどーご 戦道具一(戦道具は) [戦道具や]	いくさどー 武器ごー
いしがちえ 石垣一(石垣は) [石垣や]	いしが 城壁ちえー
いっとうちえ 一時一(一時は) [一時や]	いっとう 一時ちえー
いぬ 犬ん(犬も) [犬ん]	いん 犬ぬん、犬ぬん
うぐわんそ 御元祖一(御元祖は) [御元祖や]	うぐわんそー 御祖先
うたけ 御嶽一(御嶽は) [御嶽や]	うた 御嶽けー
うちなーぐちえ 沖縄口一(沖縄語は) [沖縄口や]	うちなーぐ 沖縄語ちえー
うちなー ちよ 沖縄ん人一(沖縄人は) [沖縄ん人や]	おちなーん 沖縄人ちよー
うはなし 御話(御話) [御話]	うはな 御話し
うび 覚一やっさん(覚え易い) [覚一やっさん]	うびー 覚びーやっさん
うむ 思ゆん(思う) [思ゆん]	うむ 思むゆん
うや 親一(親は) [親や]	うやー 親、親やー
がくむの 学問一(学問は) [学問や]	がくむ 学問のー
かな 仮名一(仮名は) [仮名や]	かなー 仮名

適切な振り仮名と送り仮名の例 ( ) = 音が関係する日本語、[ ] = 文語的発音	× 教育上不適切な文字遣いの実例
かな 敵ーん (敵わぬ) [敵ーん]	か 敵なーん、 <sup>かなー</sup> 敵ん
かべ 紙ー (紙は) [紙 <sup>かび</sup> や]	かべー 紙
か 食まりーる (食まれる) [食まり <sup>か</sup> ゆる]	かま 食りーる
かめ 神ー (神は) [神 <sup>かみ</sup> や]	かめー 神
かんげ 考ーゆん (考える) [考ーゆん]	かん 考げーゆん、 <sup>かんげー</sup> 考ゆん
きー 木 (木) [木]	きー 木ー
くい 呉んしえーる、[呉んしえーる]	くいん 呉しえーる
くくろ 心ー (心は) [心 <sup>くくろ</sup> や]	くくろー 気持
くしこ 城ー (城は) [城 <sup>くすいく</sup> や]	くしこー
くと 事ー (事は) [事 <sup>くと</sup> や]	くとー
くと 如 (如) [如 <sup>くと</sup> ]	くと 如と
くとうば 言葉ー (言葉は) [言葉 <sup>くとうば</sup> や]	くとうばー、くとうばー
くゆめ 暦ー (暦は) [暦 <sup>くゆめ</sup> や]	くゆめー
くら 頃ー (頃は) [頃 <sup>くら</sup> や]	くらー、くらー
くわえ 会ー (会は) [会 <sup>くわえ</sup> や]	くわえー
くわいいの 会員ー (会員は) [会員 <sup>くわいいん</sup> や]	くわいいのー
けー 帰てい (帰って) [帰 <sup>けー</sup> てい]	けー 帰てい
さんぐわちえ 三 <sup>さん</sup> 月ー (三月は) [三 <sup>さんぐわつ</sup> 月 <sup>ちえ</sup> や]	さんぐわ 三月ちえー
しがた 姿ー (姿は) [姿 <sup>すいがた</sup> や]	しがたー
じがめ 地紙ー、[地紙 <sup>じがめ</sup> や]	じがめー 新聞
しきの 世間ー (世間は) [世間 <sup>しきん</sup> や]	しきのー 社会
しちえ 節ー (節は) [節 <sup>しちえ</sup> や]	しちえー 季節
じちえ 実ー (実は) [実 <sup>じちえ</sup> や]	じちえー 実ちえー

適切な振り仮名と送り仮名の例 ( ) = 音が関係する日本語、[ ] = 文語的発音	× 教育上不適切な文字遣いの実例
じの 銭一（銭は） [ 銭 や ]	じ 金の一
じぶの 時分一（時分は） [ 時分 や ]	じぶ 時分の一
じんめ 吟味一（吟味は） [ 吟味 や ]	じんめ 吟味
すね 備一（備え） [ 備 一 ]	す 備ね一
すり 揃ゆん（揃う） [ 揃ゆん ]	す 揃りゆん
たいわの 台湾一（台湾は） [ 台湾 や ]	たいわ 台湾の一
たかだか 高々一とう（高々と） [ 高々一とう ]	たかだ 高々か一とう
たが 違一ん（違わぬ） [ 違 一ん ]	た 違が一ん
たげ 互一に（互いに） [ 互 一に ]	た 互げ一に
くぬたび くぬ度（この度） [ くぬ度 ]	くぬた 今度び
ちけ かた 使一方（使い方） [ 使 一方 ]	ちけ かた 使け一方
ちへの 知念一（知念は） [ 知念 や ]	ちへの 知念
ちゆかた 一方一（一方は） [ 一方 や ]	ちゆか 一方た一
とくろ 所一（所は） [ 所 や ]	とく 所ろ一
とちも 供一（供は） [ 供 や ]	とち 供も一
なま 今一（今は） [ 今 や ]	なま 現在、今
なら 習一ち（習わせ） [ 習 一ち ]	なら 教ち、教ら一ち、習ら一ち
にげ 願一（願い） [ 願 一 ]	に 願げ一
にしんえぬ 二千円ん（二千円も） [ 二千円ん ]	にしんえ 二千円ぬん
にんじの 人間一（人間は） [ 人間 や ]	にんじ 人間の
ぬく 温ば一てい（温まって） [ 温ば一てい ]	ぬ 温くば一てい
ふいむの 碑文一（碑文は） [ 碑文 や ]	ふいむ 碑文の一
ふか 他一（他は） [ 他 や ]	ふ 他か一

適切な振り仮名と送り仮名の例 ( ) = 音が関係する日本語、[ ] = 文語的発音	× 教育上不適切な文字遣いの実例
ふすくぶの 不足分ー (不足分は) [不足分 <sup>ぶん</sup> や]	ふすくぶ 不足分のー
ふちか 二日ー (二日は) [二日 <sup>にち</sup> や]	ふちかー 二日
まちげ 間違ー (間違い) [間違ー]	まち 間違げー
むら 村ー (村は) [村 <sup>むら</sup> や]	む 字らー
むらむら 村々ー (村々は) [村々 <sup>むらむら</sup> や]	むらむらー 各字
めー 前 (前) [前]	めー 前ー
やく 役ー (役は) [役 <sup>やく</sup> や]	やく 役こー
やま 山ー (山は) [山 <sup>やま</sup> や]	や 山まー
やまと 大和ー (大和は) [大和 <sup>やまと</sup> や]	やまと 日本
ゆめなか 世ぬ中ー (世の中は) [世ぬ中 <sup>なか</sup> や]	ゆめなかー 世中
ゆる 夜ー (夜は) [夜 <sup>ゆる</sup> や]	ゆるー、ゆる 夜、夜ろー
わか 解てい (解って) [解 <sup>わか</sup> てい]	わか 解かてい
わかむの 若者ー (若者は) [若者 <sup>わかむの</sup> や]	わかむ 若者のー
わらべ 童ー (童は) [童 <sup>わらび</sup> や]	わら 子供べー
われ 笑ー (笑い) [笑ー]	われ 笑れー
んかしえ 昔ー (昔は) [昔 <sup>んかし</sup> や]	んかしえー、んかしえ 昔
んけ 迎ーが (迎えに) [迎ー <sup>んけ</sup> が]	ん 迎けーが
んな 皆 (皆) [皆 <sup>んな</sup> ]	んな 皆な

上の右欄のような例は、他にもたくさんあります。

照会先

〒1870002 東京都小平市花小金井 2-6-1  
船津好明

Tel/Fax 042-467-1273

Email funatsu@mvf.biglobe.ne.jp